

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月25日

上場会社名 エレマテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 潤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 厚志

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 平成30年7月25日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	42,561	16.3	1,418	0.5	1,356	7.6	995	18.0
30年3月期第1四半期	50,859	14.9	1,425	74.8	1,261	48.4	843	31.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,120百万円 (54.8%) 30年3月期第1四半期 723百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	48.61	
30年3月期第1四半期	41.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	92,186	48,347	52.4	2,361.53
30年3月期	91,835	48,046	52.3	2,346.79

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 48,347百万円 30年3月期 48,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		25.00		40.00	65.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		30.00		36.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	0.9	6,600	1.8	6,300	3.5	4,500	2.8	219.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	21,152,473 株	30年3月期	21,152,473 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	679,301 株	30年3月期	679,301 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	20,473,172 株	30年3月期1Q	20,473,206 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調が続きましたが、米国の保護主義的な貿易通商政策及びそれに対する中国・EUの報復措置、イタリア等でのポピュリズム台頭をはじめとした海外の政策動向、中東・北朝鮮の地政学的リスク等、世界経済の不確実性により先行きは不透明な状況で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、AI及びビッグデータ活用のためのデータセンターの増加、IoT関連機器や産業用機械の需要増加、自動車の電装化比率の拡大により、電子部品等の生産は堅調に推移しました。一方、スマートフォン市場は、中国をはじめとした世界的な販売不振の影響により低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、自動車向け各種関連部材に注力した販売活動に努めましたが、スマートフォンの世界的な販売不振の影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比16.3%減の425億61百万円となりました。

利益面につきましては、売上高は減少したものの、売上総利益率の改善に加え販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益は、前年同期比0.5%減に留まり14億18百万円となりました。

経常利益は、営業利益が微減に留まったことに加え、為替差損が縮小したことから、前年同期比7.6%増の13億56百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことから前年同期比18.0%増の9億95百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第1四半期連結累計期間における地域別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、スマートフォン向けディスプレイ関連部材の販売が減少したことから、前年同期比23.5%減の220億42百万円となりました。営業利益は、前年同期比6.4%減の5億76百万円となりました。

(中国)

売上高は、テレビ及びスマートフォン向けディスプレイ関連部材の販売が減少したことから、前年同期比14.1%減の98億65百万円となりました。営業利益は、前年同期比51.3%増の3億60百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、スマートフォン向けディスプレイ関連部材の販売が減少したことから、前年同期比2.2%減の81億26百万円となりました。営業利益は、前年同期比27.8%減の2億57百万円となりました。

(欧米)

売上高は、テレビ向けディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比12.6%増の25億26百万円となりました。営業利益は、前年同期比35.2%増の97百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、「現金及び預金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比0.4%増の921億86百万円となりました。

負債は、「短期借入金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比0.1%増の438億38百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比0.6%増の483億47百万円となりました。なお、自己資本比率は、52.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より6億38百万円増加し、265億32百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億50百万円の収入となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が13億56百万円、売上債権の減少による資金獲得が3億72百万円、たな卸資産の増加による資金流出が4億67百万円、仕入債務の減少による資金流出が3億11百万円、法人税等の支払による資金流出が5億40百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、31百万円の支出となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による資金流出が34百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億53百万円の支出となりました。主な要因としましては、配当金の支払による資金流出が7億97百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成30年4月26日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,893	26,532
受取手形及び売掛金	49,673	49,453
たな卸資産	9,268	9,795
その他	1,368	915
貸倒引当金	△130	△125
流動資産合計	86,073	86,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,241	2,240
減価償却累計額	△1,539	△1,550
建物及び構築物 (純額)	702	689
土地	1,243	1,243
その他	1,730	1,718
減価償却累計額	△1,313	△1,316
その他 (純額)	417	402
有形固定資産合計	2,363	2,335
無形固定資産		
ソフトウェア	309	296
販売権	577	524
その他	0	0
無形固定資産合計	886	820
投資その他の資産		
投資有価証券	560	541
繰延税金資産	685	639
投資不動産	352	349
破産更生債権等	3,742	3,685
退職給付に係る資産	188	182
その他	742	762
貸倒引当金	△3,760	△3,703
投資その他の資産合計	2,511	2,458
固定資産合計	5,761	5,614
資産合計	91,835	92,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,829	40,680
短期借入金	53	198
未払法人税等	673	468
賞与引当金	309	319
役員賞与引当金	—	10
その他	1,732	2,001
流動負債合計	43,597	43,680
固定負債		
退職給付に係る負債	73	75
その他	118	82
固定負債合計	191	158
負債合計	43,789	43,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	42,278	42,454
自己株式	△694	△694
株主資本合計	47,061	47,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	176
為替換算調整勘定	676	815
退職給付に係る調整累計額	119	118
その他の包括利益累計額合計	984	1,110
純資産合計	48,046	48,347
負債純資産合計	91,835	92,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	50,859	42,561
売上原価	46,165	38,114
売上総利益	4,693	4,446
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	972	1,011
役員報酬	43	38
運賃及び荷造費	508	494
法定福利費	176	188
旅費及び交通費	178	205
減価償却費	50	42
賞与引当金繰入額	219	240
役員賞与引当金繰入額	10	10
退職給付費用	57	50
貸倒引当金繰入額	260	△4
その他	789	751
販売費及び一般管理費合計	3,268	3,028
営業利益	1,425	1,418
営業外収益		
受取利息	7	9
貸貸収入	20	19
その他	4	7
営業外収益合計	32	35
営業外費用		
支払利息	1	1
貸貸費用	5	5
為替差損	185	89
その他	3	0
営業外費用合計	196	97
経常利益	1,261	1,356
税金等調整前四半期純利益	1,261	1,356
法人税等	417	361
四半期純利益	843	995
親会社株主に帰属する四半期純利益	843	995

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	843	995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△12
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△137	139
退職給付に係る調整額	4	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△119	125
四半期包括利益	723	1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	723	1,120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,261	1,356
減価償却費	63	54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	246	△4
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	13	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,091	372
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,591	△467
仕入債務の増減額 (△は減少)	△441	△311
その他	△393	781
小計	3,248	1,781
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△909	△540
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,347	1,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△184	—
有形固定資産の取得による支出	△50	△34
無形固定資産の取得による支出	△9	△0
投資不動産の賃貸による収入	19	18
その他	△12	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290	144
配当金の支払額	△199	△797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490	△653
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,668	638
現金及び現金同等物の期首残高	10,282	25,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,950	26,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	28,820	11,481	8,312	2,244	50,859	—	50,859
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,123	5,895	3,344	124	21,487	(21,487)	—
計	40,944	17,376	11,656	2,368	72,346	(21,487)	50,859
セグメント利益	615	238	356	72	1,283	141	1,425

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア

(3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,042	9,865	8,126	2,526	42,561	—	42,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,367	2,644	2,535	136	15,684	(15,684)	—
計	32,409	12,510	10,662	2,663	58,245	(15,684)	42,561
セグメント利益	576	360	257	97	1,292	125	1,418

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

(1) 中国……………中国(香港を含む)

(2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア

(3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	13,600	11,556	2,188	27,345
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	50,859
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	26.7	22.7	4.3	53.8

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	10,729	11,673	1,940	24,343
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	42,561
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	25.2	27.4	4.6	57.2

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア